



飛島中学校だより

平成29年
2月15日発行
[電話番号]
96-3009

加茂水産高等学校を訪問して



1月28日(土)に行われた、加茂水産高等学校のスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール成果発表会に校長が参加してきました。

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールとは、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を目的として、先進的で卓越した取り組みを行う文部科学省指定の研究校です。(今年度は全国で51校応募した中で10校のみ選定。)

この発表会の校長挨拶の中で、次の3つの話を伺いました。

- ① 今年度の遠洋体験実習で、飛島沖にて100kg超の黒マグロを8本釣った。
- ② キューピー(マヨネーズ)の新社長に、加茂水産高校 昭和50年卒の長南収氏が就任。
- ③ 推薦入試24名募集に対して22名応募。(内陸からも来ている。)

どれも、新鮮な印象を受けた話でした。特に③の推薦入試の応募者は、近年では今年が最高ということでした。今回の発表会の内容に表れているように捕獲する漁業や養殖に留まらず、多岐にわたる学習内容から受験者が増えてきているのかもしれません。

休憩時間に、海洋教育研究会でお世話になっている先生からお話を伺ったところ、今の加茂水産は水産高校という名称よりも、海洋高校という名称の方が相応しいように思うとのこと。確かに、生徒の研究発表の大半は魚を獲る漁業ではなく、収穫した海産物の加工、保存、資源研究などでした。以下が発表された題目です。

- ・イワノリの陸上養殖の基礎研究～海草工場を創る～
- ・スルメイカの資源調査
- ・魚醤油の研究
- ・メタンハイドレートの探査と撮影への挑戦
- ・サンマ節の製品化
- ・窒素氷プラントの活用について
- ・レインボービーチにおけるアワビの食害調査
- ・次世代に向けた定置網漁業の追及
- ・ベニズワイガニの新製品開発
- ・水族館研修
- ・レインボービーチにおける食物連鎖の季節的変化
- ・中型電光掲示板の製作と運用
- ・山形県の海洋教育促進拠点の形成
- ・ベニズワイガニの有効利用

これらの研究は、大学や水産試験場、民間企業、他の高校との連携し、広く情報を求めて、課題解決に取り組んでおりました。魚醤油については、お昼に飛島沖で獲れたマグロの刺身をこの魚醤油でいただきましたが、普通の醤油に比べマイルドな味でした。

また、どの発表も映像とPCを組み合わせ、効果的に伝える工夫がなされておりました。しかし、最後の決め手は、自信に裏づけされた力強い声であったと思います。いかに周到な準備がされていても、結局人の心を打つのは、研究によって得た自信に満ちあふれた声や態度であることを改めて感じてきました。

新君おめでとう

2月の行事予定

- 文集「酒田の子ども」生活文 特選
作品名「自分への挑戦」
- 酒田市書き初め展 入選

島キネ幻燈会

1月26日（木）学校の会議室にて、島民の皆様をお迎えして島キネ幻燈会を行いました。参加した17名の皆様からはとてもよかったとお声をいただき、嬉しく思っております。ご希望があればまた行いますので、お知らせください。



希望の像について

平成元年に健康優良校選定記念として建立した希望の像が、1月27日（金）の暴風によって、倒れ、破損してしまいました。

飛島中学校の象徴でもある像なので、直ちに酒田市教育局に修理の依頼をいたしました。冬季間の修理は難しいと思いますが、春にはまた元気な姿をお見せできるようにいたしたいと思います。

日	曜	こ と が ら
1	水	
2	木	委員会活動
3	金	節分
4	土	立春
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	全校集会
10	金	
11	土	建国記念日
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	光陵高校SPH成果発表会
19	日	
20	月	期末テスト
21	火	期末テスト
22	水	読み聞かせ
23	木	職員会議
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	清掃がんばり週間
28	火	学校評議員会